

NEWSLETTER

James Joyce Society of Japan, October 2021



Topics

1. 第33回研究大会（オンライン）報告
2. 第34回研究大会日程と会場
3. 常任委員会選挙のお知らせ
4. 第34回研究大会発表者募集のお知らせ
5. *Joycean Japan* 第33号投稿のご案内

訃報

6. 会費のお振込みについて

事務局連絡先

〒448-8542

日本ジェイムズ・ジョイス協会事務局

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 外国語教育講座

道木一弘研究室内

連絡先: joyceanjapan@gmail.com

協会ホームページ: [https://www.joyce-](https://www.joyce-society-japan.com)

[society-japan.com](https://www.joyce-society-japan.com)



1. 第33回研究大会（オンライン）のご報告

去る6月12日（土）、第33回日本ジェイムズ・ジョイス協会がオンラインにより開催されました。吉川会長の挨拶の後、午前南谷奉良氏の研究発表、お昼の総会を挟んで昨年来延期となっていた二つのシンポジウム、「ジョイスと音響メディア」と「*Finnegans Wake* IV—アナリヴィアの独白を読む」が行われました。オンラインによる大会は昨年が続いて二回目でしたが、昨年以上の参加者数を数え（66名）、大きなトラブルもなく予定されたプログラムを無事終了することができました。さらに熱気冷めやらぬ若手を中心に活発な議論が大会終了後も継続されたのは画期的で、オンライン学会ならではの可能性が示されたのではないのでしょうか。

発表の準備段階から周到な打ち合わせして頂いた、研究司会の下楠昌哉先生、総会司会の戸田勉先生、会計担当の河原先生、またオンライン環境全体を綿密にご準備頂いた、事務局スタッフの小林広直さん、南谷奉良さん、山田幸代さんにあらためてお礼申し上げます。また、シンポジウムをおまとめ頂いた司会の横内一雄先生と山田久美子先生、それぞれのパネリストの永嶋友氏、今関裕太氏、下川理英氏、宮原駿氏、およびゲストの奥田良二先生、さらにオンラインでご参加頂いた会員諸氏に厚くお礼を申し上げます。

総会では、昨年度会計報告および新年度予算案が承認され、続けて、次期大会開催校の紹介等がありました。また、今年は常任委員の改選の年に当たります。詳しくは以下をご覧ください。

2. 第34回研究大会日程と会場

来年2022年は『ユリシーズ』出版百周年にあたります。これを記念して34回大会は6月11日と12日の二日間の開催とし、会場はそれぞれ大妻女子大学と東洋学園大学を予定しております。初日は会員による研究発表とシンポジウムに加えて、海外からのゲストによる講演を行い、二日目は百年祭特別企画として、前会長の結城英雄先生による一般向けの基調講演と非会員による研究発表および座談会を計画中です。詳しくは以下になります。会場をご快諾頂いた吉川会長と小林広直氏にこの場を借りてお礼申し上げます。

プログラム

(一日目) 6月11日 (土) 場所：大妻女子大学

- ・研究発表 (会員)
- ・招待講演者：Bill Brockman及びアイルランドからの研究者 (未定)
- ・シンポジウム：田村章 (オーガナイザー)、河原真也、平繁佳織、新名桂子

(二日目) 6月12日 (日) 場所：東洋学園大学

- ・基調講演：結城英雄
- ・非会員による研究発表
- ・座談会：『ユリシーズ』は現代小説をどう変えた？！

下楠昌哉、田多良俊樹、円城塔 (作家)、桃尾美佳 (司会)

3. 常任委員会選挙のお知らせ

下記抜粋の会則に基づき、来年 (2022年) 6月の総会では、2年任期の新常任委員が選出されます。事務局ではその候補者を現在の常任委員会に推薦するにあたり、全会員による選挙を行い、上位得票者若干名を選出いたします。

常任委員会は会則上「若干名」となっておりますが、慣例により9名で運営しております。今回の選挙でも例年通り9名に投票をお願い致します。またその際、ジェンダーバランスにご配慮頂ければ幸いです。

投票用紙は追って事務局より郵送致します。投票用紙名簿の左欄に、9名を上限として○をお付けください (10名以上に付けられた投票用紙無効となりますのでお気を付け下さい)。

投票用紙名簿は、同封の事務局あて封筒に入れご投函ください (ご住所・お名前は記載しないで下さい)。選挙期間は、投票用紙到着日より11月20日 (土) までとさせていただきます (11月20日消印有効)。ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。

日本ジェイムズ・ジョイス協会会則（抜粋）

（役員）

第7条 この会に次の役員及び会計監査を置く。

会長1名 常任委員若干名 事務局長1名 会計監査2名

第8条 会長、常任委員及び会計監査は総会において選出し、事務局長は常任委員の中から会長が指名し、会計の任にあたる。

第9条 会長はこの会を代表し、常任委員会を召集し、常任委員会の運営にあたる。常任委員会はこの会の活動の立案・組織・運営・および機関誌の編集にあたる。

第10条 役員及び会計監査の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

なお、現在の常任委員は以下の9名の方々です。（五十音順）

金井嘉彦、河原真也、吉川信、下楠昌哉、須川いずみ、田多良俊樹、田村章、道木一弘、横内一雄

4. 第34回研究大会発表者募集のお知らせ

上記第34回大会への研究発表を募集します。発表を希望される会員は、発表要旨を800字程度にまとめ、事務局までEメールの添付ファイル(Word)で送って下さい。応募の締め切りは12月末日です。発表時間は20分、質疑応答は10分程度を予定しています。送って頂いた発表要旨は、2022年1月に行われる常任委員会での査読を経て、採用が決定されます（司会もこの常任委員会で確定します）。要旨査読通過者は5月中旬に、司会者宛てに発表原稿を送って下さい。尚、応募された方への査読結果等は追ってご連絡致します。

5. *Joycean Japan* 第33号投稿のご案内

Joycean Japan 第33号への論文投稿を募集します。投稿の締め切りは例年通り11月末日となっております。論文投稿規程等については以下となります（*Joycean Japan* 末尾に記載）。尚、字数制限が若干緩和されました。日本語の場合は14,000字以内から16,000字以内へ、また英語の場合は5,500字以内から6,000字以内へとそれぞれ増えています。

1. 投稿資格は、会費を納入している会員が有する。投稿論文は未発表のものに限る。
2. 字数・書式については次のように定める。日本語の場合、16,000字以内（タイトル・図版・註・参考文献などを含む）。英語の場合、6,000語以内（タイトル・図版・註・参考文献などを含む）。日本ジェイムズ・ジョイス協会のホームページに掲げる、指定のフォーマットを使用し、15ページ以内とすること。*日本語原稿の場合も英語原稿の場合も、半角で2,400ストローク以内の英文サマリーを添付のこと。註や参考文献の書式は、*MLA Handbook*の最新版に基づくことを原則とする。
3. 11月末日までに、事務局に送付すること。Eメールによるファイル添付送信が望ましい。印字原稿を郵送する場合（当日消印有効）も、採用された論文については、後日デジタル情報の提出が求められる。
4. 著者校正は再校までとする。

訃報

当学会の創成期からの会員であった浅井学さんが今年7月30日に58歳で早世されました。浅井さんは論文発表やシンポジウムの企画はもとより、当協会の常任委員として長らく学会の発展にご尽力されました。研究に対する精緻かつ誠実な態度と「おなら」や「紅茶」を題材にしたユーモアあふれる語り口は学会の名物的な存在でもありました。ご著書『ジョイスのからくり細工』（アポロン社、2004）はその結晶であり今でも多くの刺激を与えてくれる好著です。

心よりご冥福をお祈り致します。

6. 会費のお振込みについて

会費は、協会の口座へのお振込みをお願いいたします。

振込用紙をご利用の場合は、郵便局や金融機関に備え付けの用紙をお使い下さい。恐れ入りますが、お振り込みの手数料は会員の皆様にご負担いただいております。ゆうちょ以外の銀行からのお振込みの場合、下記の振込先となりますのでご注意ください。

一般会員・・・5000円 学生会員・・・3500円

1. ゆうちょ銀行からのお振込みの場合

名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会
口座番号（記号）10430
番号1854541

*振込用紙をご利用の場合は、郵便局や金融機関に備え付けの用紙をお使い下さい。

2. ゆうちょ以外の銀行からのお振込みの場合

名義 日本ジェイムズ・ジョイス協会
銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900 店番号：048
預金種目：普通
店名：○四八店（ゼロヨンハチ店）
口座番号：0185454